



かみさまが くださる ちからで することが できます

【列王19:5~8】彼がえにしだの木の^{もと}の下で横になって眠っていると、ひとりの御使いが彼にさわって、「起きて、食べなさい」と言った。彼は見た。すると、彼の頭のところに、焼け石で焼いたパン菓子一つと、水の入ったつぼがあった。彼はそれを食べ、そして飲んで、また横になった。それから、主の使いがもう一度戻って来て、彼にさわって、「起きて、食べなさい。旅はまだ遠いだから」と言った。そこで、彼は起きて、食べ、そして飲み、この食べ物に力を得て、四十日四十夜、歩いて神の山ホレブに着いた。



エリヤのようにレムナントのみんなも、つらいことに^{であ}うことがありません。そのとき、どんなことを^{えら}びたいですか。いま、そのことを考えて、**神様に真実な心**を告白する祈りを書いて残しましょう。

3 Today
きょうのいのり

きょうのでんどう

きょうのみことば

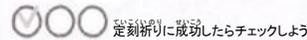
ヨエル1
一日一章
神様のみことばを讀もう

聖書には神様が特別に選ばれた人のことが書いてあります。偶像崇拝で災いに陥った現場を救うためにでした。神様を知らずに、偶像崇拝をしていたアハブ王の時期にも選ばれた弟子がいました。カルメル山で、偽りの預言者850人との霊的対決を勝利に導いたエリヤでした。エリヤは神様にいつも祈った人でした。彼は、偶像崇拝で未来の災いが迫ってくるのを知っていました。しかし、偶像崇拝をしたアハブ王と王妃イゼベルのせいで、死にそうになる危機になりました。もう自分にはなにもできないと思って、えにしだの木の^{もと}の下に行きました。そのとき「私はできません。もう私を連れて行ってください」と神様に祈って、疲れて寝てしまいました。しかし、神様は主の使いを送って、パン菓子を与え、力をくださいました。それから後、エリヤと7,000人の弟子を残す答えを受けました。神様が生きておられることを知らせる^{こた}えも受けました。

レムナントも、エリヤのように、神様に選ばれた人です。しかし、私の力では、どうすることができない事に^{こと}であうことがあります。そのとき、エリヤのように神様にすなおにすべてのことを祈りましょう。私を造り、造り上げておられる神様が、私に必要なすべてをご存知で、助けてくださるでしょう。

2016.04.17 インマヌエル聖日1部

もくそうしよう



例) あまり祈れません
祈りに集中したい私の心と思いをすべて知っておられる
神様が祈りに集中させてください

おいのり
しよう

父なる神様！エリヤのように、神様の前ですべての苦しみを^{くるしみ}おろすことができますように。神様がくださる力で偶像に勝つ霊的な力を持った弟子にならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



02 未来を いかす でし

AUGUST
かようび

Ⅱ列王6:16 すると彼は、「恐れるな。私たちととも
にいる者は、彼らとともにいる者よりも多いのだから」
と言った。

3 Today

きょうのいのり

Blank lined area for daily prayer notes.

きょうのでんどう

Blank lined area for daily devotion notes.

きょうのみことば

ヨエル2
一日一章
神様のみことばを読もう

偶像との霊的戦争で勝利したエリヤは、弟子運動をして、未来まで準備した預言者でした。ここでエリヤの後に続く指導者が出てきました。エリシャというレムナントでした。

農夫だったエリシャは、神様が自分を呼ばれたとき、農機具をすべて燃やして、すぐに従って行きました。また、師匠のエリヤが取り去られることを分かった時は、他の弟子とはちがって、最後まで彼について行きました。このとき、霊の倍の分け前を受けるようになって、霊的指導者として用いられるようになりました。エリシャは、多くの弟子を育てるドタン運動をしました。それだけではありません。神様がくださった知恵でイスラエルの王を助けて、国を生かして、自分を殺そうとアラム軍隊が攻めてきたときは、神様の力をうけて、霊的な力だけで勝利しました。

レムナントのみんなも、未来を生かすために神様に呼ばれた弟子です。それゆえ、エリシャのように霊の分け前を倍も受けるようになるでしょう。この力を受けるために〈子どもの祈り手帳〉で読んだエリシャの話を考えてみましょう。そして、神様に霊の倍の分け前を求める祈りをしましょう。神様がくださる力で、未来を生かす準備が始まるでしょう。

2016. 04. 17 インマヌエル聖日 2部

もくそうしよう

🕒🕒🕒 定刻祈りに成功したらチェックしよう



みことばを
てきようしよう

聖書にはエリシャが勝利するしかなかった奥義が書いてあるみことばがあります。また、どんな答えを受けたのかも記録されています。聖書から2つの事実を探してみて、書いてみましょう



おいのり
しよう

父なる神様。エリシャのように、未来を生かす霊の力をください。また、時代を生かす弟子を残すことができますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ひからびた ほねを いかす でんどうしゃ

エゼキエル 37:9~10 そのとき、主は仰せられた。「息に預言せよ。人の子よ。預言してその息に言え。神である主はこう仰せられる。息よ。四方から吹いて来い。この殺された者たちに吹きつけて、彼らを生き返らせよ。」私が命じられたとおりに預言すると、息が彼らの中に入った。そして彼らは生き返り、自分の足で立ち上がった。非常に多くの集団であった。



福音が入っている神様のみことばで、干からびた骨のようなたましいを生かすことができます。福音が入っている内容を、聖書から探して記録してみましょう。

かみさま であ みち
神様に会おう道

(ローマ 5:8)

まことの祭司
(マルコ 10:45)

まことの預言者
(ヨハネ 14:6)

まことの王
(Iヨハネ 3:8)



父なる神様！干からびた骨のような死んでいく人にキリストの福音を宣べ伝える伝道者として用いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

3

Today

きょうのいのり

イスラエルがバビロンの捕虜になっていたときに、エゼキエルという預言者がいました。彼は、神様のみことばに含まれている力を知っていました。そのようなエゼキエルを知っておられた神様が、彼に干からびた骨のように苦しみにやられているイスラエルの民を見せられました。そして、神様のみことばで彼らが回復する幻を見せられました。その後、エゼキエルが神様のみことばを預言して、干からびた骨が起きて、大きい軍隊を成し遂げました。

エゼキエルが生きていた時代のように、今でも多くの方が福音がなくて、干からびた骨のように苦しんでいます。このとき、神様がレムナントを選んで呼ばれました。レムナントが与えられた福音を伝えて、干からびた骨を生かすためにです。福音が入っている神様のみことばには、たましいを生かす力があるからです。レムナントが、きょうも福音のみことばを味わって伝えれば、エゼキエルの答えを受けるようになるでしょう。今、私の心に思い浮かぶ友だちや先生がいますか。どのように福音を伝えるべきかお祈りすれば、神様が心と思いに答えをくださるでしょう。

2016.04.23 核心訓練メッセージ



おくそうしよう



定刻祈りに参加したらチェックしよう

きょうのみことば

ヨエル3

目次

神様のみことばを聴もう



じぶんの アイデンティティを していた オバデヤ

1列王18:12~13 私^{わたし}があなた^{あなた}から離^{はな}れて行^いっている間^{あいだ}に、主^{しゅ}の霊^{れい}はあなた^{あなた}を私^{わたし}の知^しらない所^{ところ}に連^つれて行^いくでしょう。私^{わたし}はアハブ^{あはぶ}に知^しらせに行^いきますが、彼^{かれ}があなた^{あなた}を見^みつけることができ^かないなら、彼^{かれ}は私^{わたし}を殺^{ころ}すでしょう。しもべ^{しもべ}は子^こどもの所^{ところ}から主^{しゅ}を恐^{おそ}れています。あなた^{あなた}さまには、イゼベル^{いぜべる}が主^{しゅ}の預^よ言^{げん}者^{しや}たちを殺^{ころ}したとき、私^{わたし}のし^したことが知^しらされてい^いないのですか。私^{わたし}は主^{しゅ}の預^よ言^{げん}者^{しや}百^{ひゃく}人^{にん}を五十^{ごじゅう}人^{にん}ずつほら穴^{あな}に隠^{かく}し、パ^パンと水^{みづ}で彼^{かれ}ら^らを養^{やしな}いました。

3 Today

きょうのいのり

預^よ言^{げん}者^{しや}エリヤ^{えりや}の弟^{でい}子^しだ^だったオバデヤ^{おばでや}は、エリヤ^{えりや}を殺^{ころ}そうと^したアハブ^{あはぶ}王^{おう}の宮^{みや}内^{ない}大^{だい}臣^{しん}で^した。オバデヤ^{おばでや}は、自^じ分^{ぶん}が神^{かみ}の子^こどもで、エリヤ^{えりや}の弟^{でい}子^しだ^だというアイデンティ^{てい}ティ^{てい}を知^しって^いま^まし^した。それ^{それ}ゆ^ゆえ、エリヤ^{えりや}だ^だけで^でなく、預^よ言^{げん}者^{しや}100人^{にん}を穴^{あな}に隠^{かく}して助^{たす}け^たし^た。オバデヤ^{おばでや}はど^どのよ^ように^にして、自^じ分^{ぶん}のアイデンティ^{てい}ティ^{てい}を知^しったので^でし^しょうか。

オバデヤ^{おばでや}は幼^{おきな}い所^{ところ}から神^{かみ}様^{さま}を知^しって信^{しん}じて^いま^まし^した。偶^ぐ像^{ざう}崇^{そう}拝^{はい}のせい^{せい}で来^くる災^{わざわい}い^いである^{である}こと^{こと}も知^しって^いま^まし^した。また、アハブ^{あはぶ}王^{おう}がバアル^{ばある}、アシェラ^{あしえら}とい^いう偶^ぐ像^{ざう}に仕^{つか}える偽^{いつわ}りの預^よ言^{げん}者^{しや}850人^{にん}を助^{たす}けて、本^{ほん}当^{とう}の預^よ言^{げん}者^{しや}エリヤ^{えりや}を殺^{ころ}そうと^しる事^じ実^{じつ}も知^しって^いま^まし^した。この^{この}とき、オバデヤ^{おばでや}は、エリヤ^{えりや}を^を通^{とお}してカルメル^{かるめる}山^{さん}で霊^{れい}的^{てき}戦^{せん}い^いが起^おき^きるよ^ように^に助^{たす}け^たし^た。唯^{ゆい}一^{いつ}な神^{かみ}様^{さま}の力^{ちから}を全^{ぜん}世^せ界^{かい}に現^{あら}わ^わすよ^ように^にした^{した}ので^でした。その^{その}よ^ように、オバデヤ^{おばでや}は神^{かみ}の子^こども、エリヤ^{えりや}の弟^{でい}子^しだ^だとい^いうアイデンティ^{てい}ティ^{てい}を^を持^もっ^て、重^{じゅう}要^{よう}な^なこと^{こと}を^をし^した^{した}。

レムナント^{れむなんと}の^のみ^みん^んな^なも、オバデヤ^{おばでや}の^のよ^ように^に神^{かみ}の子^こども^{ども}で^です^すから、オバデヤ^{おばでや}の^のよ^ように、重^{じゅう}要^{よう}な^な信^{しん}仰^{やう}の^の行^{こう}動^{どう}を^をす^する^るこ^こと^とが^が必^{ひつ}要^{よう}で^です。神^{かみ}様^{さま}が^が願^{ねが}わ^われる^るこ^こと^とを^をす^する^るよ^ように^に選^{えら}ば^ばれた^たか^から^らで^です。今日^{けふ}、神^{かみ}の子^こども^{ども}と^として、私^{わたし}は^はど^どんな^{んな}信^{しん}仰^{やう}の^の行^{こう}動^{どう}を^をで^でき^きるか^か考^{かんが}えて^てみ^みま^まし^しょう。その^{その}行^{こう}動^{どう}で^で神^{かみ}様^{さま}を^を喜^{よろこ}ば^ばせる^るこ^こと^とが^がで^でき^きる^るで^でし^しょう。

2016.04.24 インマヌエル教会聖日1部

もくそうしよう



定刻祈りに成功したらチェックしよう

きょうのみことば

ヨエル1

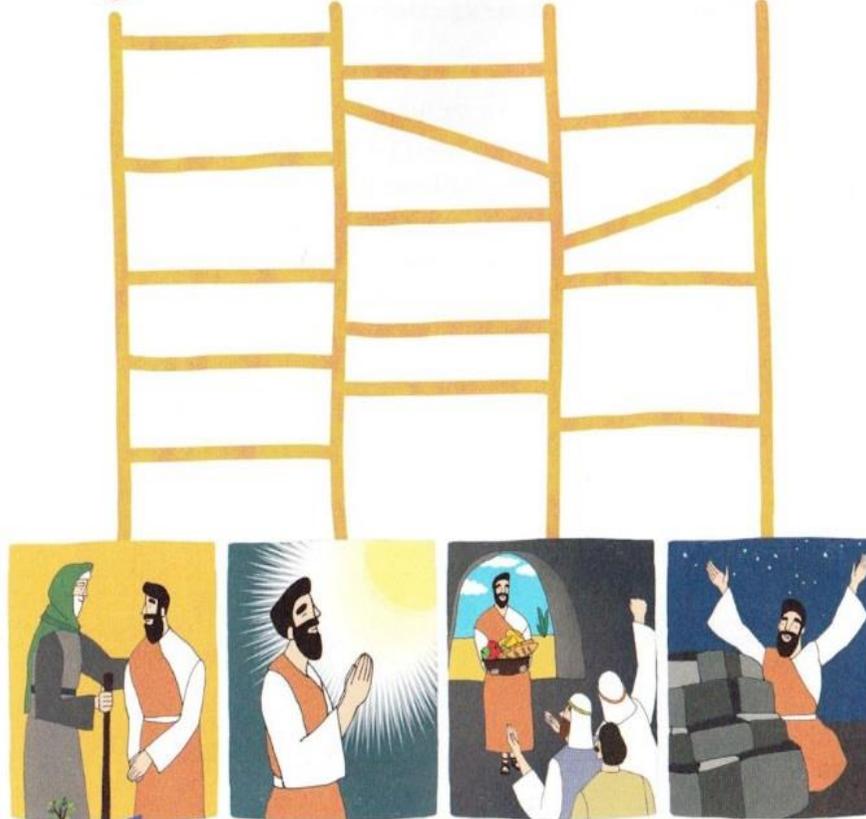
神様のみことばを讀もう



神^{かみ}様^{さま}が^が願^{ねが}わ^われる^るこ^こと^とを^をし^した^たオバデヤ^{おばでや}は、むずかしい^{むずかしい}とき^{とき}でも^{でも}神^{かみ}様^{さま}を^をお^おそれ^{それ}、^{つやま}敬^{ひと}った^{ひと}人^{ひと}で^でした。

き^きょう^{ょう}のみ^{のみ}こ^こと^とば^ばを^を思^{おも}い^い出^だして、オバデヤ^{おばでや}と^と関^{かん}連^{れん}する^るこ^こと^とを^を考^{かんが}えて、は^はし^しご^ごを^をお^おり^りて^てみ^みま^まし^しょう。

① ② ③ ④



おいのり
しよう

父^{ちち}なる^{かみ}神^{かみ}様^{さま}！私^{わたし}を^を神^{かみ}の子^こども^{ども}と^として^{して}呼^よんで^よん^んで^でか^かさ^さつ^つて^てあ^あり^りが^がと^とう^うご^ござ^ざい^いま^ます。ど^どんな^{んな}と^ところ^{ころ}に^にい^いても、神^{かみ}の子^こども^{ども}だ^だとい^いう^うアイデンティ^{てい}ティ^{てい}を^を覚^{おぼ}えて、キ^きリ^りス^すト^との^の弟^{でい}子^しだ^だの^の生^{せい}活^{かつ}を^をす^する^るこ^こと^とが^がで^でき^きる^るよ^よう^うに^に。イ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト^との^のお^おな^なま^まえ^えの^の祈^{いの}り^りを^をし^しま^ます。ア^あー^あメ^{えん}ン



かみさまが くださる ちからで しょうりしよう!

【列王19:4 自分は荒野へ一日の道のりを入れて行った。彼は、えにしだの木の陰にすわり、自分の死を願って言った。「主よ。もう十分です。私のいのちを取ってください。私は先祖たちにまさっていませんから。」

実戦できりぬいて
つぎのページと表裏、はりあわせて使ってください



てが
手書きで~わたしがつくる伝道トラクト



3 Today

きょうのいのり

エリヤは神様がくださった力で、カルメル山であった霊的戦いに勝利した預言者です。ところが、神様を知らないアハブ王と、王妃イゼベルのせいで、いつも死の危機がありました。ある日、エリヤはとても疲れてしまいました。エリヤは、これ以上、アハブ王に苦しめられるのに耐えることができなくて、ホレブの山に逃げました。神様の前で「私はこれ以上、できません。もう私を連れていってください」と祈って、寝てしまいました。神様は、疲れて寝てしまったエリヤに主の使いを送って、食べ物と飲み物を与えて力をくださいました。そして、神様の働きをする弟子を見つけてたてるように使命もくださいました。

レムナントのみんなにも、ときには、愚いげない問題が迫ってくることがあります。自分の力では解決できなくて、耐えられないことに会うこともあります。そのとき、エリヤのように、新しい力を得るように神様に祈りましょう。神様が私を通して、この時代の霊的戦争をするために大きい力をくださるでしょう。きょう、神の子どもにだけ与えられる大きい力を受けて、霊的戦いに勝利するレムナントになりましょう!

2016. 04. 24 インマヌエル聖日 2部

もくそうしよう

定刻祈りに成功したらチェックしよう

きょうのでんどう

きょうのみことば

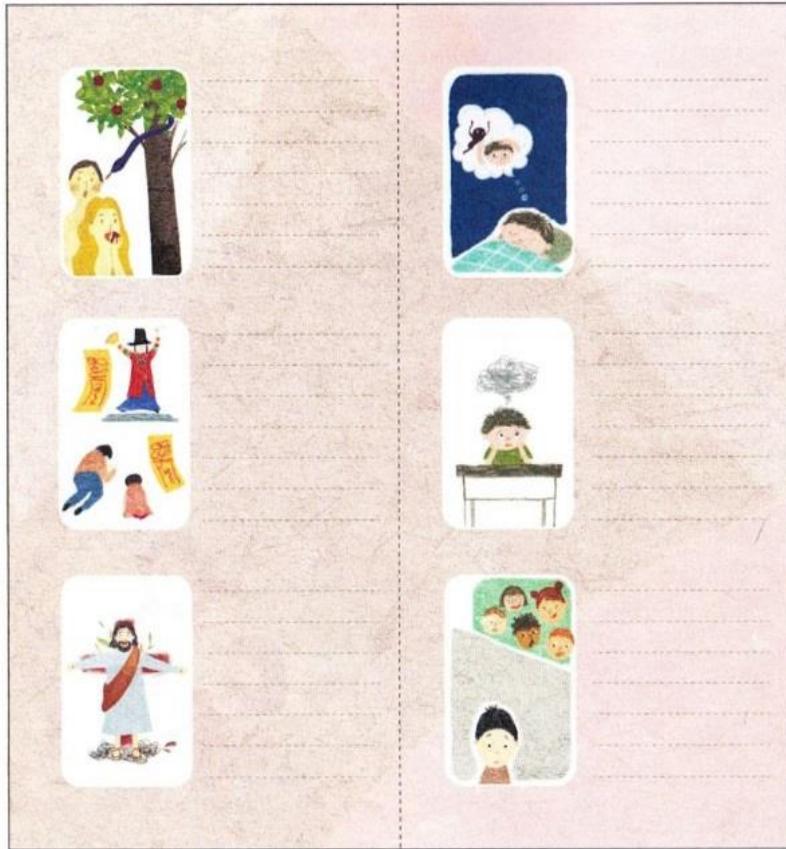
ヨエル2

神様のみことばを讀もう

おいのり
しよう

父なる神様! 目に見える問題にだまされなくて、神様がくださる力で勝利することができますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

実戦できりぬいて
 まえのページと表裏、はりあわせて使ってください



おいのり
 しよう

父なる神様！ただイエス・キリストだけが神様に出会う道だという神様のみことばを宣べ伝えるレムナントとして呼んでくださって、ありがとうございます。唯一の福音を味わって、守って、あかしすることに用いられるように導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

ゆいいつの ふくいんを まもって つたえる レムナント

06

AUGUST

どうび

使徒4:12 この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。

世の中には多くの宗教があります。福音でない他の救いを話す団体も多くあります。しかし、いのちを生かす真理の福音はただ一つ！イエス・キリストだけです。ところが、このように貴重な福音を、よく知らないで揺れるようになります。ペテロのようにです。

ペテロは、イエス様がカルバリの丘に捕えられていくとき、3度も自分はイエス様の弟子であるという事実を否定しました。イエスがキリストであると告白しても、確信がなかったからです。このようだったペテロが、真理の福音によってだけ受けられる聖霊の満たしを受けて変わりました。ある日、ペテロがみことばを伝えてユダヤ人に捕えられました。しかし、以前とは違って、堂々と唯一の救い主はイエス・キリストだという事実を話しました。

レムナントのみんなも、ペテロのように、唯一の福音の真理と価値を知っています。また、この福音を通してだけ受けることができる力を与えてくださるという約束ももらいました。今日、この時代に唯一の福音を守ってあかしする本物のレムナントとなるように神様が呼ばれたという契約を考え直してみよう。そして、この福音を伝えられるように、ペテロのように力と大胆さを求めて祈ってみよう。今日、私に与えられた出会いを通して福音を伝えるようになるでしょう！

2007.03.24 レムナント伝道学 77 講

もくそうしよう



定刻祈りに成功したらチェックしよう

3
 Today

きょうのいのり

きょうのでんどう

きょうのみことば

ヨエル3

神様のみことばを讀もう